

# 県地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業第19号 概要

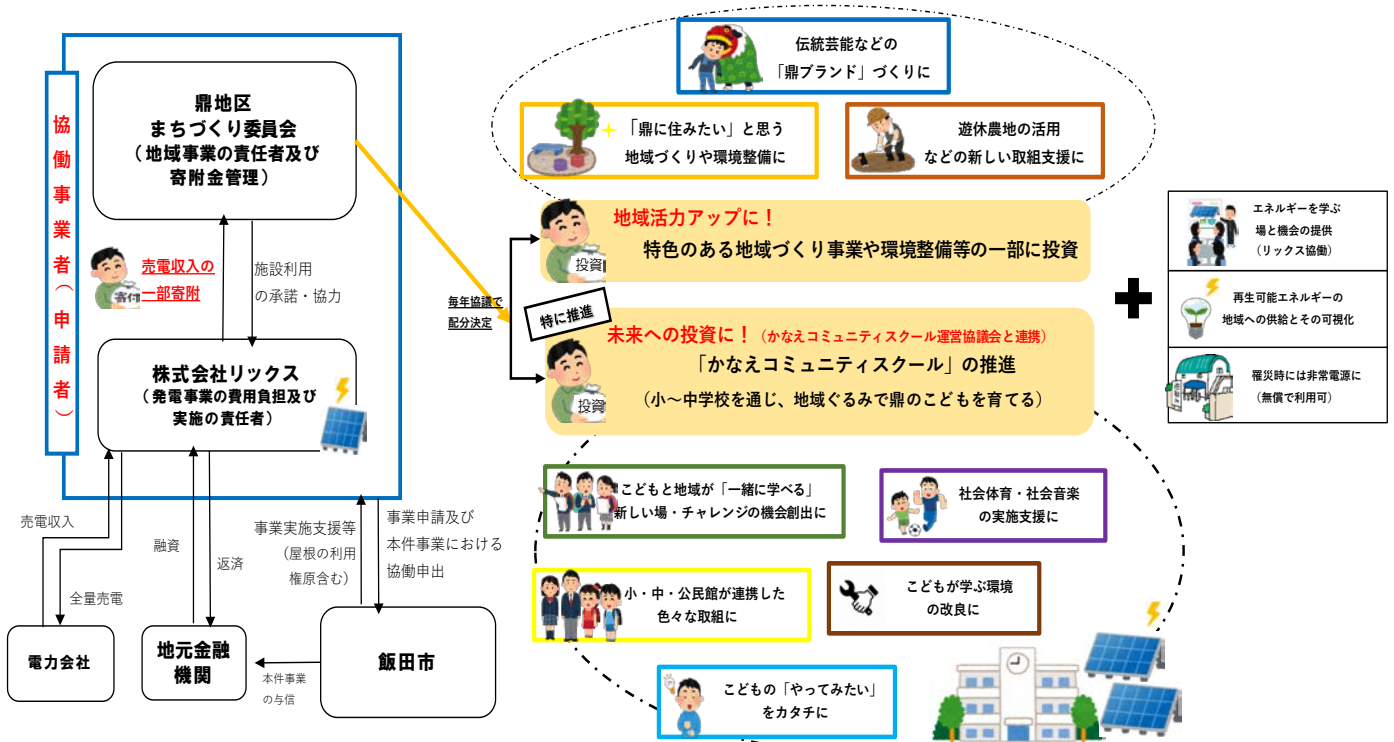
## 1 事業概要

- (1) 事業主体 飯田市鼎上山 1890 番地 1 / 県地区まちづくり委員会 会長 安田 完爾
- (2) 協力事業者 飯田市三日市場 1466 番地 1 / 株式会社リックス 代表取締役 熊谷 弘
- (3) 事業実施箇所・名称 飯田市鼎中平 2472 番地 / 飯田市立鼎小学校  
飯田市鼎上山 2582 番地 / 飯田市立鼎中学校  
飯田市鼎中平 1339 番地 5 / 飯田市鼎体育館
- (4) 再エネ設備概要 鼎小学校 / 太陽光発電 / 設備容量：28.5kw / 年間発電量：19,346kwh  
鼎中学校 / 太陽光発電 / 設備容量：28.5kw / 年間発電量：27,110kwh  
鼎体育館 / 太陽光発電 / 設備容量：21.0kw / 年間発電量：25,422kwh
- (5) 事業実施期間 令和3（2021）年4月から令和21（2040）年3月まで（予定）

## 2 事業スキーム

- (1) 鼎小学校、鼎中学校及び鼎体育館の屋根に設置する太陽光パネルにより、太陽光発電事業を行い、売電します。
- (2) 売電収益の一部を株式会社リックス（以下単に「リックス」といいます。）から県地区まちづくり委員会（以下単に「委員会」といいます。）が寄附金として受領し、委員会は寄附金を3のような用途に充て、地域課題の解決、地域振興を図るほか、地域住民の環境意識の向上に取り組みます。
- (3) リックスは、太陽光発電設備の維持管理を行うほか、委員会が実施する環境学習に協力します。

鼎小学校・鼎中学校・鼎体育館の屋根に、新しく太陽光発電設備を設置し、そこから発生する収益の一部をもとに、長期間（20年）に渡り、現在なかなか手の届いてない「県地区を豊かにする既存の活動や新しい取組を地域で育てる」事業



### 3 地域貢献寄付金の使途

- (1) 「未来への投資」として学習ボランティアの支援等小中学校、公民館、地域及び家庭が一体となって鼎の子どもを育てる「かなえコミュニティスクール」の推進及び地育力向上の取組に活用
- (2) 「地域活力アップ」として鼎地区の活性化や自治を支えることを目的とした団体の助成やその事業の実施の支援に活用
- (3) 「地域活力アップ」として特色ある地域づくり・地域の活力アップに繋がる鼎の環境整備やブランド力向上に資することに活用
- (4) 指定避難施設である鼎小学校・中学校、応急避難施設である鼎体育館の防災力の更なる向上に活用

### 4 地域の合意形成と飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会での審査経過

- (1) 令和元年7月 リックスが委員会に本事業の実施を提案し、委員会は事業の検討を開始
- (2) 令和元年10月 「10地区の魅力を生かし活力あるまちづくり」、「明日のかなえを創るこどもを育むまちづくり」などを掲げた第4次基本構想を策定
- (3) 令和元年8月～令和3年1月 委員会内部での検討、小・中学校等関係者との調整を実施
- (4) 令和3年2月8日 委員会及びリックスが飯田市（再生可能エネルギー導入支援審査会）への事前相談を実施
- (5) 令和3年3月3日 委員会及びリックスが飯田市に事業認定を申出。飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会は、審査の結果、認定すべき旨を答申

### 5 飯田市再生可能エネルギー導入支援審査会での事業評価

- (1) 本件事業は、地域に賦存する再生可能エネルギー資源を地域住民が自ら活用することを通じて、電力のグリーン化に寄与するとともに、本件事業から発生する地域貢献寄付金をもとにまちづくり委員会が計画する地域振興策が進められることにより、地域コミュニティの活性化及び地域の環境価値の向上に繋がり、飯田市が行う「いいだ未来デザイン2028」に寄与するものといえます。
- (2) 本件事業の事業計画及び資金運用計画は、過去に飯田市及び近隣の8市町村28施設（小中学校その他の公共施設等）の太陽光発電事業を実施してきた実績を持つリックスのノウハウを基礎に作成されたものであり、安定的に運用される可能性が十分に高いものといえます。
- (3) 本件事業の焦点は「地域活力アップ」と「未来への投資」であり、コミュニティスクールの推進という特色もあり、地域が取り組みたい課題を優先順位を示して明確にした点が評価に値します。